

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部 土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (主幹 小西克彦)	内線	4408 (4437)
------	--------------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	河川事業	事業名	事業区間	総事業費	6.3 億円	
		統合河川整備事業 (一)前山川	市島町上竹田宮ノ下～ 市島町上竹田今中	内用地補償費	0.4 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
氷上郡市島町上竹田宮ノ下				H16	H16	H20
事業目的			事業内容			
<p>近年では平成2年9月の台風19号により大規模な被害が発生したほか、平成9年、平成11年にも改修予定区間で冠水被害が発生している。河道拡幅によりこれらの冠水被害を防止し地域住民が安全安心に生活できる環境を確保する。</p>			<p>計画流量 180m³/s (現況流量20m³/s) 実施内容 L=700m 掘削20,000m³、護岸4,670m²、橋梁3橋、井堰1基</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>現在も未整備のまま残された当該区間の現況流下能力は約20m³/sで、計画流量の10%程度と極めて低く、平成2年、平成9年、平成11年と度重なる被害に見舞われている。 家屋等の浸水被害を防止し地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保するため、地元意見も採り入れ改修計画を策定した。 平成14年10月に策定された「竹田川圏域河川整備計画」の中でも整備対象区間として位置付けされている。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>当該事業により通学路にも指定されている県道や家屋等の浸水被害を防止することができる。 また、改修による治水安全度向上に対する地元要望が強いことから、円滑な事業執行が可能である。費用便益費 B / C = 2.4</p>					
(3)環境適合性	<p>傾斜の緩い2割護岸の箇所には階段を設置し親水性を高めたり、傾斜が比較的急な5分護岸の箇所には植生が定着し得る環境ブロックを使用するなど、環境及び景観に配慮した構造としている。 また、低水路についてはみお筋を活かした自然な水際線を形成することにより生物の生息にも適した環境づくりを行う。</p>					
(4)優先性	<p>前山川において唯一残された未整備区間であり、度重なる浸水被害を防止するため早急に整備する必要がある。 なお、当該区間の上下流は災害関連事業及び局部改良事業等により改修済みである。</p>					